

経営課題4 あいりん地域対策

具体的取組4-1-1 不法投棄対策

30予算額

166,882千円

元予算額

147,066千円

目標	目標値	結果
・街路・公園への不法投棄量の削減	街路: 前年度以下 公園: 前年度比20%減	街路: 前年度比6.7%減 公園: 前年度比65.1%減

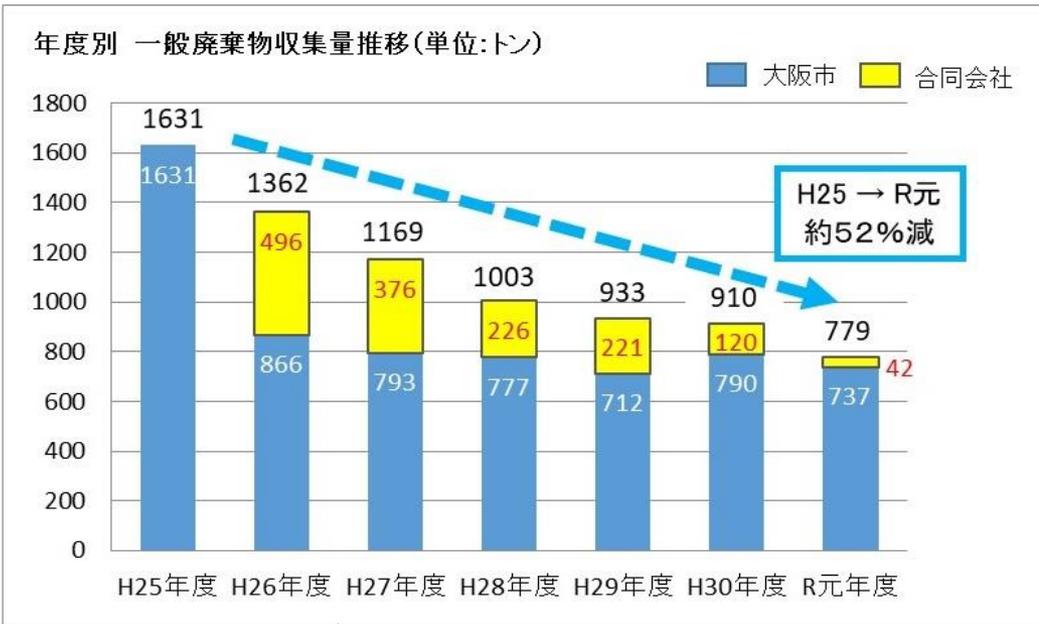
達成

取組実績

- ・不法投棄防止を目的とした巡回
(毎日14時～翌6時)
- ・公園への不法投棄を防止するため、啓発拠点を設置し、家庭ごみの排出ルールなどの啓発
(毎日6時～14時)
- ・生活保護世帯へのごみの出し方チラシの送付 約22,000枚

【一般廃棄物】 不法投棄 ごみ収集量

令和元年度
779トン
H29年度比:52%減
H30年度比:14%減



経営課題4 あいりん地域対策

具体的取組4-1-2 迷惑駐輪対策

30予算額	4-1-1に含む	元予算額	4-1-1に含む
目標	目標値	結果	
あいりん地域内の迷惑駐輪台数	平成30年度目標台数の2,000台を維持	令和2年3月2,157台	

未達成

取組実績

- ・地域内自転車置場(約1,120台)の清掃及び整理整頓を実施(随時)
- ・長期間放置自転車への啓発エフ取り付け(308日)
- ・長期放置自転車の撤去(1,455台)

課題と改善策

- ・9月～11月の間、撤去自転車保管場所が整備工事により使用できず、長期放置自転車の撤去作業を予定どおり行うことが出来なかった影響を受け、12月調査では迷惑駐輪台数が増加する結果となったが、12月以降撤去作業を再開し、3月調査では2,157台まで減少した。
- ・撤去を再開した12月以降は、迷惑駐輪台数は減少していることから、令和2年度についても、引き続き定期的な長期放置自転車の撤去を行いながら、啓発や自転車置場の利用促進を行い、迷惑駐輪の減少を図る。

自転車置場の整備状況

南海新今宮駅南高架下自転車置場
完成年度:平成27年度
収容台数:約300台



南海新今宮駅南高架下自転車置場

住吉神社前通線自転車置場
完成年度:平成29年度～30年度
収容台数:約270台



住吉神社前通線自転車置場

尼崎平野線南側自転車置場
完成年度:平成28年度
収容台数:約30台

阪堺線西側自転車置場
完成年度:平成28年度
収容台数:約300台

三角公園南側自転車置場
完成年度:平成26年度
収容台数:約60台



具体的取組4-2-1 結核健診の拡充による患者の 早期発見・早期治療

30予算額	19,121千円	元予算額	20,900千円
-------	----------	------	----------

目標	目標値	結果
西成区で実施する結核健診(本館・分館・あいりん健診・地域健診等)受診者数	8,900人以上	7,681人

未達成

取組実績

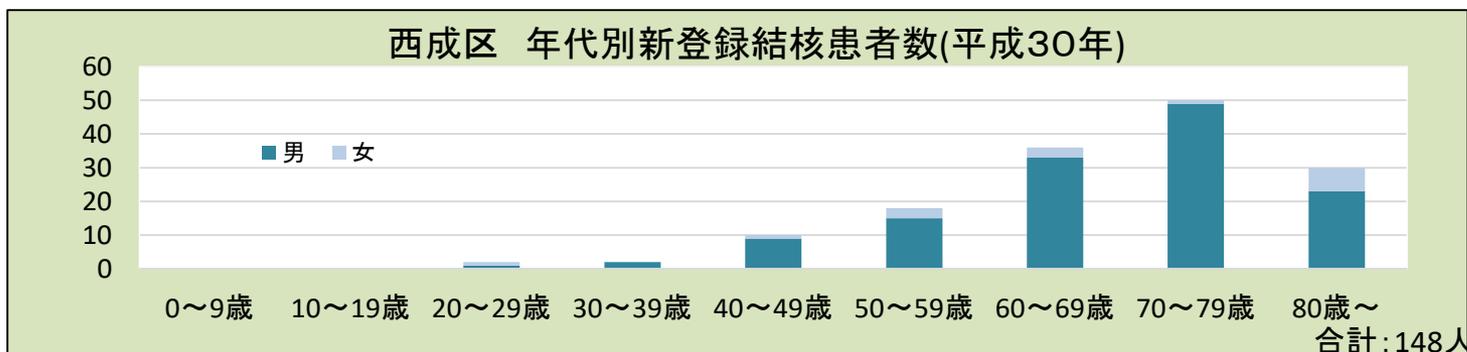
- ・西成区保健福祉センターでの健診を月17日程度実施
- ・あいりん地域内健診を45回(内、夜間2回)実施
- ・西成区内医療機関での健診42カ所委託実施
- ・検診車による地域健診を7カ所実施

■西成区で実施する結核健診受診者数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診者数(人)	9,409	8,678	9,045	8,761	7,948	7,681

課題と改善策

- 結核健診の中でも、大きなウェイトを占めるあいりん地域内健診(分館含む)の受診者が減少しているが(前年度比▲214件)、これは特掃登録者やホームレスの減少が大きな要因と考える。健診受診者数の増加を図るには、あいりん地域も含めた西成区のあらゆる地域について、健康意識が低く、これまで健診を受けたことがない方々に対して、定期的な健診受診の重要性について理解していただくための啓発が課題である。
- 令和元年度から拡充した、あいりん地域内のアパートへの個別受診勧奨は、健診受診率が比較的高いことから、次年度においてはこのアパート勧奨をさらに強化・拡充していく。また、町会の回覧を利用した勧奨も受診効果を有することが分かったため、次年度は回覧する町会を拡充するとともに、区役所に来庁する区民向けの受診勧奨も随時行うなど、あいりん地域以外の住民についても定期受診につなげ、有症状受診で重症化発見されることのないよう、取組みを進めていく。



経営課題4 あいりん地域対策

具体的取組4-2-2 結核患者の支援の充実

30予算額

33,937千円

元予算額

34,168千円

目標	目標値	結果
新登録肺結核患者の治療失敗・脱落中断割合	3%以下	1.6%

達成

取組実績

- ・あいりんDOTS開始数
拠点型40名、訪問型15名
- ・あいりんDOTS実施者のつどい月1回開催
延べ215名参加
- ・「あいりん結核患者療養支援事業」居所確保
地域内個室39名、地域内大部屋16名利用



あいりんDOTS 拠点型の様子

経営課題4 あいりん地域対策

自己評価のまとめ

【あいりん地域環境対策】

- 不法投棄ごみ収集量については、順調に減少しており、投棄ごみが散逸していない状態を維持している。迷惑駐輪台数については、予定9月～11月の間、長期放置自転車の撤去を行うことが出来なかったことにより、一時的に増加する結果となったが、撤去開始後は減少傾向となっている。
- また、あいりん地域の住民や関係者へのアンケート結果では「あいりん地域の環境が良くなったと感じる」と回答した割合が87%となるなど、地域住民等が実感できる状態まで改善しており、これまでの取り組みが大きな成果をあげている。

【結核対策】

- ここ数年で罹患率は大幅に減少していることから(2016年:173.1→2019年:99.3(概数値))、これまでの特区による様々な結核対策の効果が表れていると考える。しかしながら、区全体の新登録結核患者数は依然として大阪市の中で一番多いため、結核患者の早期発見につながる結核健診受診の重要性を広く普及啓発していく必要がある。